

## 1 目的

本地域は農業が基幹産業であるが、入学生の多くは第二種兼業農家・非農家（84%）であり、農業体験が少ないことが予想される。しかし、ほとんどの生徒は農業に興味関心を持ったことを入学の動機にあげている。

このような現状から、地域産業（農業）の実態を把握させるための視察研修や職場体験学習等は就農意欲の醸成とともに教育的効果が高いものとする。



J A実習（農産物加工センター）

## 2 実施状況

### (1) J A実習（職場体験学習）

生物生産科1年生31人が、5日間の日程で地域関連機関および各事業所で体験学習をとおして、農業に対してより興味・関心を持つことができた。

### (2) 島内視察研修

生物生産科2年生37人が、島内の先進的な園芸・畜産農家の施設を見学した。就農者や農業の指導者として活躍している方々の取組を目の当たりにして、地域農業の現状等について理解を深めることができた。



島内視察研修（園芸農家）

### (3) 島外視察研修

将来、就農予定で農業大学校への進学希望者を対象に、本校生物生産科2年生4人、1年生2人が平成28年度九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会に参加した。

生徒の農業への興味・関心が高まり、農業大学校進学、農業自営への進路実現に向けての意欲を喚起づける契機となった。



島外視察研修（発表会見学）

## 3 今後の課題、取組

離島で就農を志す生徒にとって、農業後継者育成基金事業を活用させていただき、研修視察等を実施することは、生徒の就農意欲を喚起する機会となっている。

今後も事業内容をより一層、魅力あるものにして、希望と意欲を持った就農希望者が増え、地域農業を支える人材の育成につながるよう、努めていきたい。